

日本語版

True Peace

Vol. 32

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一國 11年

天曆 2月

2023年 陽曆 3月

巻頭言

真の父母様のみ言

特集

HJ NEWS

現場特集

天の父母様と真の父母様を中心とした天寶役事と天心苑の恩恵

真の父母様招請 鮮鶴UPA生徒特別集会 真の父母と一つとなり、天一国を満天下に現わしてこそ

天一国基元節宣布と安着摂理

真の父母様招聘 鮮鶴UPA士官生徒特別集会

神アメリカ / 神アジア太平洋 / 神ヨーロッパ / 神中南 / 神アフリカ



天の父母様と真の父母様を中心とした 天寶役事と天心苑の恩恵

李基誠 HJ天宙天寶修鍊苑 天心苑長



愛する祝福家庭の皆様!

真のお父様の聖誕 103 周年と真のお母様の聖誕 80 周年をとときめきと喜びと歓喜で迎える年、天一国 11 年を希望を持って出発し、今年初の孝情天寶特別大役事を天一国 11 年天曆 1 月 14 日と 15 日 (2023.2.4-5) の 2 日間実施しました。天地人真の父母様の聖誕と天一国基元節 10 周年を記念し、普遍的な靈性修行と祝祭の場として、孝情天寶特別大役事が現場およびオンラインによる参加を通して、世界 99 ヶ国計 7 万 1 千人余りが参加する中で恩恵の中で行われました。

特別大役事は 2004 年 6 月に「天運相続と所願成就のための特別大役事」という名で始まって以来、天地人真の父母様の宇宙的な勝利権がより一層拡張され、日々恩恵が高まってきました。特別大役事は靈界を総動員して靈的な背景を整理する特別な恩賜の期間なので、真の父母様が「すべての食口は必ず、大役事に年に 4 回参加するように」と語られたのです。

また、真のお母様の特別なみ言により、天一国 8 年天曆 5 月から現在まで、平日午後 10 時から翌日午前 1 時まで天心苑の役職員と各地区の公職者および食口が、共に徹夜精誠を続けています。今年 2 月 16 日には第 700 回天心苑特別徹夜精誠が開催され、2 千人以上が参加する中で絶対的な信仰で皆が一つとなり、熱く祈祷精誠を捧げました。

天地人真の父母様は、天心苑は天の父母様と共に生きることを体験できる場所であり、主体的天上世界と交流することのできる神聖な聖所であり、祈祷し、精誠を捧げれば、必ず問題を解決できるように絶対善霊たちが役事する場所であると語られました。そして、私たちはこれまで数多くの証の報告を通じて、その内容を確認することができました。

今、私たちは天の父母様に孝情で侍る HJ 天苑で、孝情天寶役事と天心苑の恩恵が、奇跡のように行われている内容を目撃することができます。実体聖霊独り娘であられる真のお母様が、現在より千年以上先の遠い未来を眺めて精誠を尽くされながら、靈的摂理と靈性啓発の本殿である天心苑と HJ 天宙天寶修鍊苑を中心に、実体聖霊と靈性運動の聖地としてその位相を高めています。

どんな状況にあっても、絶対信仰、絶対愛、絶対服従で天地人真の父母様の手を必ず握りしめ、侍っていかれるように願います。どうか孝情天寶役事と天心苑を通じて天運を相続し、万事が上手くいき、願いが叶い、期待と喜びと歓喜に満ちた天一国 11 年、2023 年の大勝利の年になることを祈願致します。ありがとうございます。✍

Vol. 32

天一國 11年
天曆 2月
2023年 陽曆 3月

www.ipeacetv.com

True Peace

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

CONTENTS



巻頭言

- 02 天の父母様と
真の父母様を中心とした
天寶役事と天心苑の恩恵
李基誠 HJ 天宙天寶修鍊苑 天心苑長

HJ NEWS

- 14 真の父母様招聘
鮮鶴 UPA 士官生徒特別集会
- 16 未来世代 UPA と YSP 孝情機動団
冬季活動報告の証詞
- 18 ビジョン 2027
神統一韓国安着のための
尹煥鎬世界本部長招請特別集会
- 22 2023 天地人真の父母様聖誕および
天一國基元節 10 周年記念
孝情天寶特別大役事
- 25 世界平和女性連合 (WFWP)
米国会長離任式
- 27 第 1 回孝情アカデミー
国際学術大会
- 29 第 18 回 鮮鶴 UP 大学院大学校・
学位授与式
- 30 韓半島の平和と神統一韓国実現のための
2023 新年湖南濟州地区
超宗教祈祷会

真の父母様のみ言

- 04 メシヤと真の父母
「超宗教超国家平和協議会」創設記念および
真の父母様聖誕祝賀晩餐会
- 07 真の父母と一つとなり、
天一國を満天下に現わしてこそ
真の父母様招聘 鮮鶴 UPA 生徒特別集会

特集

- 09 天一國基元節宣布と安着摂理

現場特集

- 神アメリカ
32 神アメリカ活動報告
- 神アジア太平洋
35 神アジア太平洋活動報告
- 神ヨーロッパ
36 神ヨーロッパ活動報告
- 神中南
37 神中南米活動報告
- 神アフリカ
40 神アフリカ活動報告



メシヤと真の父母

「超宗教超国家平和協議会」創設記念および真の父母様御聖誕祝賀晩餐会
2004年1月27日、場所：韓国、ソウル、新羅ホテル



世界各国からお越しの高名な指導者、尊敬する国内外の貴賓、そして紳士淑女の皆様。この場は、きょうで八十四回目を迎えた私と、韓鶴子総裁の誕生日を祝賀するために設けられた晩餐会場です。しかし、私たち夫婦は、今晚自分たちがお祝いを受けるよりも、ここに席を共にしてくださった「世界平和のための頂上会議」に参加された皆様に、この晩餐をもてなしたいと思います。

今晚私は、八十有余年の生涯をかけて、天のみ旨のみを伝えて生きてきた伝統に従い、「メシヤと真の父母」という題目の天のメッセージを伝えることによって、挨拶の言葉に代えさせていただこうと思います。人間は本来、神様の子女として創造され、神様の子女として成長し、神様から祝福結婚を受けた家庭となり、子孫万代、罪のない善の血統の子孫たちを繁殖させなければならない運命をもって生まれました。人類の始祖アダムとエバは、神様を縦的眞の父母として侍り、眞の父母であられる神様を軸として横的実体の眞の父母にならなければなりません。その世界は、メシヤという言葉が存在する必要のない世界になっていたでしょう。その家庭は、創造本然の理想家庭になっていたものであり、その世界は、神様の創造理想が完成した地上天国になっていたでしょう。そのような世界で暮らして肉身の生を終えれば、人間は誰もが自動的に天上天国に入籍し、永遠無窮に自由と平和と幸福の世界で暮らすようになっていたのです。

しかし、不幸にも、人間始祖の墮落によって、人類は、抜け出すことのできない絶望の奈落に落ちてしまったのです。霊的五官を通して神様と直接通じながら暮らし、肉的五官を通して万物を自由自在に主管し、それと同時に霊界と肉界を代表した眞の主人、眞の父母、眞の王にならなければならなかったのです。

しかし、彼らは、墮落によって霊的五官が完全に麻痺してしまい、目は開いていても見えない、そのような立場に転落してしまいました。肉的五官にのみ頼って生きなければならない片側だけの人間になってしまったのです。父母である神様を見ることも、その声を聞くことも、感じることもできなくなったので、どうして父母の愛を知ることができ、その事情を知ることができのでしょうか。

メシヤは眞の愛、眞の生命、眞の血統の実体

直系の子女として生まれた人類が、サタンの偽りの血統を受け、僕の僕の位置に転落してしまったという事実を御覧になった神様の苦痛は、どれほど大きかったのでしょうか。

しかし、原理原則の神様は、御自身の立てられた創造原理と創造理想を自ら破ることはできないので、数千、数万年の復帰摂理を通して、救世主メシヤを待ち続けてこられたのです。宗教によって、それぞれ異なる名前では呼ばれていますが、



その名前が弥勒仏であろうと真人であろうと救世主であろうと、人類が必要とし、神様が求めてきた方は、眞の父母だったのです。そうだとすれば、メシヤとは誰であり、どのような人でしょうか。個人はもちろん、家庭、氏族、民族、国家、世界と宇宙まで歩み、信仰と希望と愛の実体として立つことができる主人です。そのような方をメシヤとして侍ることができる時に、初めて人類歴史上に残っている信仰が結実されるのであり、希望が結実されるのであり、愛も結実されるのです。

その結実体には、人類歴史が息づいており、私たちの過去、現在、未来が連結されています。人間はもちろん、天とも連結されています。メシヤは、墮落によって父母を失い、天涯の孤児になってしまった人類のために来られた、実体の眞の父母、眞の主人、眞の師、眞の王になる方です。偽りの父母のもとで苦痛を受け、呻吟していた偽りの子女たちを、眞の子女として取り戻して立てるために来られた眞の愛、眞の生命、眞の血統の実体であられるのです。

ユダヤ人の不信によって眞の父母になれなかったイエス様

父母を失った子女たちを再び抱き、天のみ前に復帰させるために来られた方が、正に眞の父母であられるイエス様でした。アダムとエバは、墮落によって眞の父母の位置を失ってしまい、眞の夫婦にもなることができず、眞の子女をもつことができなかったのも、神様に三代圏の血統、すなわち孫と孫娘を抱かせてさしあげることができなかったのです。

眞の父母の使命

皆様。しかし、天は、眞の父母の愛によって、かわいそうな人類に再び恩寵を施してくださいました。二千年間のキリスト教の歴史を通して、イエス様を中心とする霊的復帰摂理を展開してきた基台の上に、再臨のメシヤの顕現を祝福されたのです。

「眞の父母」という単語は、世の中のいかなる百科事典に



もありません。レバランド・ムーンが作り上げた言葉でもなく、世の中の誰かが付けてくれる名前でもありません。神様が私たち夫婦に下された天命であり、祝福なのです。

真の父母の位置は、救世主、メシヤ、再臨主の総体的な使命を負わなければならない、歴史上、空前絶後の責任をもつ位置です。したがって、いまだに墮落圏に属している人類には、真の父母に侍り、天のみ旨を成就するにおいて必要ないくつかの条件があります。第一に、蕩滅革命を完成しなければなりません。すべてのものを捨てて真の父母に侍り、従っていかなければならないという意味です。友を捨て、師を捨て、さらに自分の父母までも捨てて、真の父母に従わなければなりません。

第二に、良心革命を完成しなければなりません。すなわち、この世の中のいかなる主権や理念を前にしても、一点一画も加減することなく、神様が賦与与よしてくださった本心の指向性に従い、真の愛、真の生命、真の血統の伝統を守りなさいという意味です。天のみ前でも、万物の前でも、一点の恥ずかしさもない「正午定着」的な生を生きなければならないということです。

私たちの生が、一心、一体、一念、一核の境地に到達し、純潔、純血、純愛の「性」を永遠不変の伝統として安着させ、一和統一時代を花咲かせるとき、初めて良心革命は完成するのです。

第三に、心情革命を完成しなければなりません。神様が訪ねてこられて、すべてのことを共に相談し、共に暮らしたいと

思われる真の愛の世界を完成しなければならないのです。言い換えれば、心情革命は真の愛革命です。「ために存在する」という万古不変の真の愛の実践を意味するのです。私たちが他のために生きることを考えてみてください。真の愛の根源であられる神様が、正に私たちの中にお住まいになり、私たちのために生きられるようになるのです。私たちにとって、これ以上の喜びと栄光がどこにあるのでしょうか。心情革命が完成したところでは、家庭破綻、人種間の紛糾、国境紛争、そして宗教的摩擦のようなサタン世界の残滓は、見いだすことができなくなるのです。永遠の平和王国が建てられるというのです。

蕩滅、良心、心情革命によって天のみ旨を成就しよう

尊敬する貴賓の皆様。私たち夫婦は、平和世界をこの地上に創建しなければならないという天命を完遂するために、去る一九九六年、統一教会の看板を下ろし、「世界平和統一家庭連合」として新しい出発をしました。天のみ旨は、真の家庭を根本とする人類平和にあるのであって、ある特定の教会や宗教の定着にあるのではないからです。

皆様。私たち夫婦に賦与された真の父母の使命が天命だとすれば、今から私たちと手をつなぎ、この地球村に平和の天国を創建しなければならない皆様の使命もまた天命なのです。今や、天の時が訪れました。燃える希望を心の中に抱いてお帰りになり、皆様各自がメシヤとして、また真の父母として世界平和を具現する働き手となられることをお祈りいたします。ありがとうございました。🙏

真の父母と一つとなり、 天一国を満天下に現わしてこそ

真の父母様招請 鮮鶴UPA生徒特別集会
天一国11年 天曆1月16日（陽2023年2月6日） | 天正宮博物館



皆さんは天一国の中心人物、宝物です。それを実感する今回の冬季訓練の期間になればいいと思います。

聖書で述べる、その砂漠のオリーブの木の中には、2000 年を経た木もあります。そのような木を見ると、どうしてそのように砂漠で耐えてきたのかと考えるようになります。

オリーブの木が水を求めて根を下ろすのですが、15 メートルまで下りていくそうです。どうやってそのようにすることができのでしょうか。そのオリーブの木の根っこの先が、硬い岩も経るでしょうし、砂、土にも出合うでしょうが、どうやって水を探して根っこを 15 メートルまで伸ばすのでしょうか？ そのように根を下ろした木は、実を結び、2000 年を生きます。そのため、その文化はオリーブの文化だと見ることもできます。ギリシャとイタリア、そしてイスラエルをはじめとする中東は、オリーブの実をたくさん食べ、オリーブオイルもたくさん使います。

全知全能なる創造主が創造した、人間始祖になり得る男性と女性、アダム・エバが墮落したというのは、あり得ることでしょうか？ 墮落したアダム・エバを、エデンから追い出しました。

それが人類歴史の出発です。その後、6000 年の人類の歴史は、戦争と葛藤と戦いの連続でした。一日も平和が安着しませんでした。平和は一瞬すれ違うだけで、再び戦争が繰り返される大変な歴史でした。

創造主は始まりと終わりが同じ方です。始められたので、必ず、目的を果たされなければなりません。それで救援摂理の歴史が始まったのです。数多くの人類の中からイスラエルという民族を選ばれました。その民族をつかみ、天は救援摂理歴史を経綸されました。

天はどれだけ大変だったのでしょうか。オリーブの木が根を 15 メートル下ろすこと以上に大変だったことでしょう。そしてついに、サタンと関係のない「私の息子だ」と言うことのできるイエス・キリスト

を誕生させました。

神様は創造原則に従い、人間にのみ特別な時間を与えられました。成長期間、生まれたばかりの赤ちゃんが摂理を歩むことはできません。それで、その赤ちゃんが成長して、自ら判断し、「天のみ旨はこのようなことなのだなあ」と決心して、完成の立場に進み出る時を待たれました。

キリスト教は「また来る」と約束したイエス・キリストを待ちながら出発しました。いまかいまかと、いつ来られるかわからないので、精誠を込めて待ってきました。100 年でも 300 年でもなく、2000 年が過ぎましたが、キリスト教はイエス様の本質が分かりませんでした。創造主の本質も分かりませんでした。創造主は、人類の中に、完成した真の父母を探してこられたのです。男性のメシヤだけでなく、真の父母の顕現を願われました。

皆さんは、天秘をみな知っています。堂々と、彼らを教育することができます。創造主の夢と、イエス様の夢が何であるかを語ることができるのです。

今日続いている戦争と葛藤、そして人間の無知によって、創造世界のバランスを取ることができずに地球が疲弊しています。そうすると、現代科学では、宇宙を開拓しようと言います。しかしそれは簡単なことではありません。

どうやって宇宙を開拓し、80 億の人類を食べさせ、生かすことができるでしょうか？ 今すぐ戦争をやめて、地球を救うことに世界が一つとなって努力するならば、宇宙を開発することに莫大なお金を使う必要がありますか？ 創造の夢が成就した地球がエデンの園となったのに、わざわざ他の惑星に行って暮らす必要がありますか？ 無知には完成がありません。学んで悟らなければなりません。

草創期の真の父母の顕現は、キリスト教が歓迎する中で成されなければなりません。そのようにできなかったのに、基元節までの 53 年間、冬の季節で春を迎えることができませんでした。天

の父母様は、真の父母の顕現によって春を迎え、創造理想を実現しようとされました。しかし、環境が整っていなかったために時間がかかったのです。

新しい歴史の時代、天一国基元節の元年は、誰が宣布しましたか。皆さんはそれを忘れてはいけません。真の母と一つになる道だけが、皆さんと、皆さんの家庭と、霊界の先祖たちまで解放される道なのです。

地上にいる間に、天の父母様の夢、人類一家族・地上天国の生活の姿と環境はこうだというものを見せてあげようと、天苑団地をエデンの園としてつくっています。過去 10 年間に私がどれほど苦労したか、皆さんは知っていますか？

いまだに神統一韓国・神統一世界を築いていくうえで障害が多いのです。精誠を捧げなければなりません。

皆さんは独り娘・真の母と一つとなって、オリーブの木よりもっと深く根を下ろさなければなりません。

皆さんが地上にいる間にしてあげなければなりません。そうしてこそ霊界が解放されます。天の摂理は地上が先です。地上が先に定着してこそ、霊界も定着することができます。

創造主が、完成したアダム・エバと、完成した真の父母を通して、地上で子女たちと共に地上天国生活をされたのち、永遠なる天上天国に行こうとされたのが、創造の青写真です。特に今年、天の父母様の聖殿を、6000 年を経て初めて奉獻します。天の父母様がどれほど、この一時を待ってこられたかを考えてみてください。どれだけ、目が飛び出るほどに待たれたことでしょうか！

皆さんはとても恵まれた人たちです。幸運児です。

これから皆様と、摂理を共に成し遂げていくために学びの道を歩んでいる信出、信興です。皆さんは兄弟です。互いに愛し、助けながら、堅固なる天一国を満天下に現してくれるようにお願いします！

天一国基元節宣布と安着摂理

1. 天一国基元節の摂理的意味

2001年というのは、3000年に向かう出発の年です。そして、人類歴史は男性と女性をそれぞれ3000年で計算すると、6000年になります。この男性と女性の6000年で果たすべき責任を、父母様の生涯を総評した13年間で終わらせなければなりません。アダムが責任を果たせなかったことを、父母様がその13年間で解決しなければならないというのです。神様がサタンに血統を奪われてしまったので、その血統を取り戻してきたのです。2013年1月13日が、私たちのDデーです。父母様が13年間に、すべてきれいに片づけてしまうのです。(2010年2月1日、天正宮博物館、真の父母経13編2章1節12番のみ言)

真の父母様は1960年の聖婚式以後、真の父母・真の師・真の主人の路程に勝利し、祝福を通じて数億組の霊肉界の天の民を探し立てられた。そして世界平和を実現するために全世界の全分野にわたり、多くの団体を創設するなど、内外すべての基盤を築かれた後、2001年1月13日の神様王権即位式以後、天一国基元節を迎えるまで、13年間休むことのない摂理路程を歩まれた。

真の父母様は2013年の神様王権即位式以後、2003年の天地父母様天一国開門祝福聖婚式と天宙天地父母平和統一祝福家庭王即位式を経て、2003年と2004年の「第1イスラエル平和の王戴冠式」から「第4イスラエル平和の王戴冠式」を行われた。また、2006年の天正宮入宮式を通じて、天宙平和の王戴冠式、2009年の万王の神解放圈戴冠式まで挙行され、2010年には神様と縦的に一心・一体・一念・一和・一核を成し、ご夫妻が横的に最終一体を成した基盤の上に、旧約・新約・成約時代の完成・完結・完了と全体・全般・全権・全能の時代を宣布された。そして2011年「天地のすべての存在が焦点を合わせ、創造主神様が創造本然の基準を探し立てられた中で、すべての摂理の完成・完結・完了と最終勝利を宣言する」とされ、「すべてを成し遂げた!」、「天一国最大勝利記念日」、「神様と真の父母様一体完了! 神様が完成・完結・完了! アチュ!」と宣布された。



2012年、真のお父様は、聖和される21日前、地上での生涯最後の公式宣布（報告）を通じて、救援摂理の最終的完成・完結を宣言され、「すべての祝福家庭は国家を代表することのできる、氏族メシヤになりなさい。」という祝福と「すべて成し遂げた！」という宣布で、地上での生涯路程を勝利的に完成・完結・完了され、永遠の天上世界に上がられた。これは縦的に天の父母様と一体、横的に真の父母様ご夫妻の最終一体を宣言した中で、天地人真の父母定着を成し遂げられるようになったことを意味する。天一国基元節を迎えるまでは、このように真の父母様の多大なる犠牲と精誠が投入されたのである。

2. 天一国基元節

天地人真の父母様天一国即位式・天一国基元節入籍祝福式が天一国元年天曆1月13日(2013.2.22)、世界の前・現職首脳や各界指導者をはじめ、国内外の祝福家庭など3万人余りが参加する中、清心平和ワールドセンターで盛況裏に行われた。

復帰摂理のすべてを完成・完結・完了され、天の父母様と一体を成された天上の真のお父様の聖袍と聖冠が玉座に奉呈された。まもなく紫色の王衣をまとい、王冠をかぶられた真のお母様が天上天下の祝賀の中、美しい薔薇と百合を持った御孫様たちを率いて入場された。天の父母様と天地人真の父母様の権能と権威を象徴する天皇寶、み言による統治を表す、天一国経典『天聖經』と『平和経』、そして天皇寶が真の父母様に奉呈された。真の父母様が天一国の象徴と天一国元年を宣布されると共に、儀式は頂点に達した。また、「天一国元年」の宣布を実体的天一国が始まる基元節にされることにより、この日の意義を高められた。

真の父母様は天地人真の父母様天一国即位式以後、霊肉界の善男善女たちが天一国の民として入籍する祝福の恩賜を施して下さった。それだけでなく、真のお母様は真の父母様の霊璽の模様が四方に刺繍された袱紗が入っている特別賞を、すべての人類に分け与えることを願われる意味で、祝福家庭代表約1200人に授与して下さった。



3. 天一国三大經典の宣布

真のお母様は、真のお父様の聖和の後、真の父母様の伝統と遺業を伝承するための最初の作業として、天一国三大經典の編纂を推進してこられた。

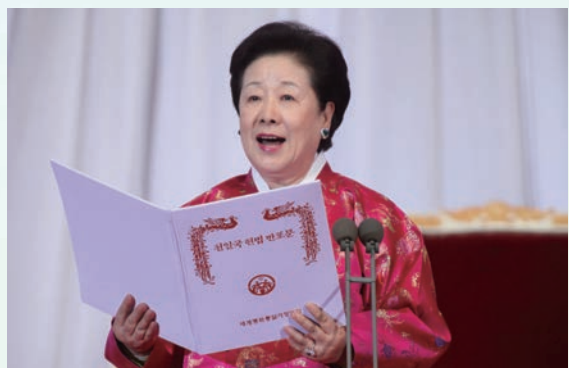
天一国經典の編纂は、第一に、蕩滅復歸摂理路程を歩まれた真の父母様のみ言と生涯路程および行跡を、永遠の歴史的遺産として伝承し、第二に、天一国のビジョンとその民の生活指針を確立するという意義をもつ。最後に、訓読を通して人格形成が成され、その地平が世界と天宙まで拡大されることを意味する。

天一国三大經典の内、『天聖經』と『平和經』は基元節 1 周年 (2014 年) を期して奉呈され、『真の父母經』は真のお父様の聖和 3 周年 (2015 年) を期して奉呈された。

「お父様のみ言やすべての業績は、原石と同じです。宝石なのです。それで、私はその宝石を最高のものにして、いつも私の傍らに、私が愛することができる所へと持ち歩きたいのです」(2013.1.10、天正宮博物館)

4. 天一国憲法の頒布

天一国憲法は、天一国元年天曆 7 月 17 日 (2013.8.23)、真のお父様の聖和 1 周年を期して最終完成版が奉呈されたのに続き、下位法の制定と憲法頒布の準備過程などを経て、天一国基元節 1 周年の記念式において真のお母様に奉呈・頒布された。以後、真のお母様は下位法の制定事業を進められ、基元節 1 周年記念式を期して真の父母様が天一国憲法を全天宙に頒布された。天一国憲法は、真の父母様が生涯を通じて見せてくださった、真の愛とみ言の人生を、天一国の国民がすべて相続し、天の父母様の国を創建するように導く、法度・規範・指針である。





5. 天一国聖物伝授

天地人眞の父母様聖婚 56 周年記念日を迎え、天一国の国民として生まれ変わることができる、天一国四大聖物（聖酒、聖燭、聖塩、聖土）を統一家の食口たちに伝授して下さった。天一国の聖物は、天の父母様と眞の父母様の直接主管時代を迎え、過去の全ての過ちを清算し、本然のエデンの園で新しく誕生する恩赦であり、祝福である。

6. 天一国安着のためのビジョン2020

眞のお父様の天宙聖和以降、眞のお母様は「命が尽きる日まで、天一国をこの地上に定着させます」と決意され、天の父母様と全人類が願ってきた、天一国安着のその一日のために、中断なき前進を敢行された。眞のお母様は天上の眞のお父様と渾然一体を成された中で、2013 年天暦 1 月 13 日、ついに基元節を宣布され、天一国を開門され、以後、天一国安着のための天宙的 7 年路程を新たに出発された。

眞のお母様は天上の眞のお父様と共に 3 年間の侍墓精誠を天の父母様に捧げ、孝情の伝統を立てられ、天一国安着の実体的出発のための基台を造成された。以後、眞のお母様は神氏族メシヤ運動を通じて、人類を天一国の民に生まれ変わらせようとされ、全世界で大陸別に希望前進大会を自ら主管し、天一国の実体化のための環境を創造された。また、天宙的力ナン 40 日世界巡回路程を通じて、国家の復帰を越えて大陸復帰のための基台を造成され、ついに天一国安着のための天宙的 7 年路程に勝利された。



7. 神統一韓国と神統一世界のためのビジョン2027

このような勝利の土台の上に、真のお母様は真のお父様の聖誕 100 周年と真の父母様の天宙聖婚 60 周年を記念して行われた聖誕節と基元節記念行事を通じて天一国安着を宣布され、神統一韓国と神統一世界安着に向けた天宙的カナン 7 年路程である、ビジョン 2027 を新たに出発された。

これに対し全世界のすべての祝福家庭は天の父母様の夢、真の父母様の生涯業績とその遺業を完成される、神統一韓国と神統一世界安着の基盤造成の意味でビジョン 2027 を勝利し、天の父母様の本聖殿であり天一国の中央庁である天苑宮天一聖殿をみ意のままに奉獻することで、天の父母様の真の子女であり天一国の真の主人としての使命と責任を果たすことを祝福してくださった。

全世界のすべての祝福家庭は天上の真のお父様と、地上に実体としていらっしゃる真のお母様を中心に侍り、人類の前に天の父母様を証し、共生・共栄・共義の理想を広めることで、天の父母様を中心とした人類一 가족を成す架け橋の役割を果たし、「神統一韓国」と「神統一世界」の定着の使命を果たしていかなければならないだろう。 



真の父母様招聘 鮮鶴UPA士官生徒特別集会

真の父母様招聘鮮鶴 UPA 士官生徒特別集会が天一国 11 年天曆 1 月 16 日 (陽曆 2023 年 2 月 6 日)、真の家庭、鄭元周 (チョン・ウォンジュ) 総裁秘書室長、金東宇 (キム・ドンウ) 神南米大陸会長、李基誠 (イ・ギソン) 天心苑長、ト・ヒョンソプ鮮鶴 UP 大学院大学総長、UPA10 期士官生徒および公職者など約 50 人が参加する中、天正宮博物館で開催された。

真のお母様はこの日、み言を通して

「創造主は始まりと終わりが同じ方です。始められたので、必ず、目的を果たされなければなりません。それで救援摂理の歴史が始まったのです。創造主は、人類の中に、完成した真の父母を探してこられたのです。男性のメシヤだけでなく、真の父母の顕現を願われました。皆さんは、天秘をみな知っています。堂々と、彼らを教育することができます。創造主の夢と、イエス様の夢が何であるかを語る事ができるのです。創造主が、完成したアダム・エバと、完成した真の父母を通して、地上で子女たちと共に地上天国生活をされたのち、永遠なる天上天国に行こうとされたのが、創造の青写真です。」と強調された。

また、「これから皆様と、摂理を共に成し遂げていくために学びの道を歩んでいる信出、信興です。皆さんは兄弟です。互いに愛し、助けながら、堅固なる天一国を満天下に現してくれるようにお願いします!」だと強調された。





UPA のパク・スホン団長は報告祈禱を通じて、「感謝してやまない天の父母様! 真の父母様! 今日この貴重な時間、愛する独り娘、真のお母様をお迎えし、神様が自ら育ててくださった UPA 士官生徒たちが一堂に集いました。真のお母様が常に天の父母様に向けた思いを抱いておられるように、私たちもまた、その心に似て天に対する孝情の心で真の父母様に喜びの実績をお返しできるよう、そして必ずより大きな希望を抱いてもらえるようにすると誓えるこの時間になるようお許してください。」と懇願した。

特別集会は、冬季実習期間の報告 (UPA10 期大村澄歩生徒、カン・ハジョン生徒、ハン・ジョンテ生徒)、和動の時間、記念撮影の順で行われた。

UPA 士官生徒たちは、真のお母様の愛と祝福の中で、鮮鶴 UP 大学院大学で専門的な教育と体系的な訓練を通じて資格と実力を備え、天一国の未来を導いていく真の指導者に成長することを決意し、全体の日程を終えた。🌀

証詞

未来世代 UPA と YSP 孝情機動団 冬季活動報告の証詞

カン・ハジョン 生徒

天の父母様と真の父母様の恩恵の中で、未来世代 UPA と YSP 孝情機動団 (計 350 人) は、天一国 10 年天曆 11 月 28 日から天一国 11 年天曆 1 月 20 日まで (陽 2022.12.21~2023.2.10) 冬季活動を展開した。

今回の期間、UPA と YSP は 45 カ所の全国教会現場に派遣され、天の父母様の失われた子女を探すために伝道活動、成和青年牧会活動に、死生決断・全力投球の心情で投入した。

特に今回の活動期間、UPA と YSP は若い世代を復帰するために PD アッセンブル活動、拾いジョギング、国境なき勉強部屋、夢を越えた夢、イッタクラブ、HJ ドリームフェスティバル、希望ヨリ、希望修練会など様々な戦略を実践し、教会から遠のいていた青年食口を復帰するために最善を尽くした。その結果、天の前から遠ざかっていたその青年は改心し、再び天の父母様と真の父母様の前に戻ることの出

来る、祝福の恩賜が起こった。

UPA と YSP は真の父母様が語られた、「多くの実」を探すために、新しく様々な方法を動員した結果、準備された伝道対象者を天の前に奉献して差し上げることができた。

大村澄歩 生徒

毎日忙しい活動を続けていたある日の夕方、すべての活動を終えて教会に復帰しようとした瞬間、教会の建物が目にとまった。建物のドアの前に「歓迎します」と書かれた文句が、なぜか私を歓迎してくれているように思えて躊躇せず堂々とドアを叩いた。中にはキリスト教の青年 4 人がいて、私は真のお母様が「必ずあなたたちが天の父母様と真の父母様、独り娘・真のお母様を宣布しなければならぬ。」と言われた内容を実行した。



(左上から) キリスト教伝道、成和青年牧会 (南楊州教会希望ヨリ)、環境キャンペーン、真の父母様ご聖誕公演

その日、私は彼らと夕食をとりながら聖書に対する疑問について語り、真の父母様のみ言を実践した。彼らもやはり毎日神様に祈禱を通じて報告し、世の中の人々がみな一族であることを知っていた。私は彼らにもう少し踏み込んで、真の父母様、真のお母様が存在するかどうかについて真実を伝え、私たちのビジョンを共有できるよう最善を尽くした。

私はキリスト教の青年たちが、私たちと聖書的解釈が違うだけで、彼らもやはり天の父母様の下の一 가족、天の父母様を親として侍り暮らしている兄弟姉妹であることが感じられた。そのため、天の父母様のみ旨、母親の存在、独り娘・真のお母様について知らせるためにより力を注いだ。

私が彼らに天の父母様、真の父母様について語った時、私は誰よりも真のお母様の切実な心情と一つになったことを感じられた。天も私の切実な心をご存じだったかのように、彼らが少しずつ私に心を開いてくれた感じを受け、最終的に彼らは真の父母様を通じてのみ、真の天の父母様の子女として成長できることを確信するに至った。

私たちはあまりにも当然のように伝道が難しく、キリスト教徒や他の人に真実を語ることが大変だと感じる時が多

い。しかし、私はキリスト教徒が真実を知り、真の父母様、独り娘・真のお母様と一つになる日まで前進に前進を重ね、み旨を成し遂げるだろう。ありがとうございました。

ハン・ジョンテ 生徒

2023年の癸卯年の新年を迎え、冬季孝情機動団の活動に参加したことは、私個人的にとっても意義深く、アップグレードすることのできる時間であった。

私たちの活動がたやすくはなかったため、最初の始まりは恐れが先立ったけれど、活動が続ければ続けるほど、「私は真の父母様の真なる子女として、世の中の人々に愛を伝えなければならない。」という思いとなり、人々に出会うすべての瞬間に非常に大きな感謝が感じられた。

孝情機動団の活動を通じて、天の父母様が私自身を通じて、とてつもなく大きな成長要素を与えてくださったと考えられる。これまでの多くの悩みと恐怖を解決することができ、様々な教育と活動を経験させてくださったのは、天の父母様と真の父母様の真の愛のおかげである。天の父母様、真の父母様、心から愛しています。アデュ！



ビジョン2027 神統一韓国安着のための 尹煥鎬世界本部長招請特別集会

尹煥鎬世界本部長は神統一韓国と神統一世界安着のために昼夜を問わず全力投球する中で、真の父母様の特別指示で世界本部教会（陽 12.11）を皮切りに、神京原国（陽 2022.12.28）、神忠清国（陽 2022.12.29）、神京仁国（陽 2023.1.15）に続き、神慶尚国（陽 2023.1.29）、神全羅国（陽 2023.2.12）など、世界本部教会および 5 地区を巡回して特別集会を開催した。今回の特別集会は、世界平和統一家庭連合の食口が一丸となり、2023 天苑宮天一聖殿を勝利奉獻しようという意味がある。

神慶尚国特別集会

「ビジョン 2027 神統一韓国安着のための尹煥鎬世界本部長招請神慶尚国特別集会」が第 5 地区本部釜山教会 5 階大聖殿で天一国 11 年天曆 1 月 8 日（陽 2023.1.29）、尹煥鎬世界本部長および世界本部役員、朴榮培（パク・ヨンベ）5 地区神韓国共同会長、神慶尚国牧会公職者、中心食口約 720 人が参加する中で開催された。

特別集会第 1 部は、クオン・インジン家庭連合副会長の司会で、開会宣言、敬拝、報告祈祷、孝情公演、歓迎の挨拶、孝情の証、孝情賛美、真の家庭賛美、花束奉呈、み言および祝祷、記念撮影の順で行われた。



神全羅国特別集会

「ビジョン 2027 神統一韓国安着のための尹煥鎬世界本部長招請神全羅国特別集会」が、第4地区麗水ジオーションホテル グランドボリュウムホールで天一国 11 年天曆 1 月 22 日 (陽 2023.2.12)、尹煥鎬世界本部長、世界本部役員および地区本部会長、大教区長夫妻、UPF 市道支会長など約 800 人が参加する中で開催された。

特別集会第1部はイ・ジュン家庭連合副会長の司会で開会宣言、敬礼、報告祈祷、歓迎の挨拶、孝情の証、孝情賛美、花束奉呈、み言および祝祷、記念撮影の順で行われた。



チョン・ウチョル大教区長は報告祈祷を通じて「今この時に、真のお母様はいつにも増して切迫した心情で、天の父母様の摂理の完成であり、人類歴史の完成となる天苑宮天一聖殿勝利奉獻のために、最高の精誠を投入していらっしゃると思います。子供は両親の事情と心情を知り、その思い通りに生きてこそ、本物の子女であることを悟る時、私たち4地区が一つとなり、天苑宮天一聖殿はもちろん、ビジョン 2027 地域復帰まで勝利奉獻できることを心より願っております。この時間、4地区のすべての祝福家庭は、神霊と真理で天寶家庭の理想を叶えていきたいと思いますので、すべての瞬間を私たちと共にして下さい。」と懇願した。



李相宰 (イ・サンジェ) 会長は歓迎の挨拶を通じて「この場を準備して下さいった真の父母様に深く感謝したい。また、真のお母様に侍り、摂理を率いる尹煥鎬世界本部長夫妻をはじめ、世界本部の指導者たちを喜んで歓迎する。天苑宮天一聖殿勝利奉獻のために、4地区が見せてくれた孝情の思いを、天は必ず記憶されると思われる。そのような意味で、本日のこの場はとても意味がある。地から受ける天の賞の主人公となる皆様に、お祝いの言葉を伝えたい。」と話した。





尹煥鎬世界本部長は、真のお母様が神全羅国にくださった「天一国 11 年 天苑宮天一聖殿勝利奉献がある今年、皆が天の福で溢れることを願う。皆さんを本当に愛している。」というみ言を伝え、「昨年一年間、真の父母様に侍り、勝利的に歩んできた神全羅国のすべての指導者の皆様と祝福家庭に深く感謝したい。天一国 11 年にはより一層勤勉で賢く、黒い兎のように全人類に愛され、誇らしい天寶家庭となり、天の父母様と真の父母様の、孝情の子女として生まれ変わることを願う。」と話した。

第 2 部の授賞式は、特別に真の父母様が尹煥鎬世界本部長を通じて孝情特別賞、孝情功労賞を授与した。この日の行事は 2023 年 5 月、天苑宮天一聖殿勝利奉献の誓いと、2027 勝利の決意を通じて、天の父母様に向かう孝情の心情と、人類を誰よりも愛で抱かれる、真のお母様の愛を体恤する時間として、盛況裏に終了した。🔪



2023 天地人真の父母様聖誕および 天一国基元節10周年記念 孝情天寶特別大役事

孝情天寶特別大役事が天一国 11 年天曆 1 月 14 日～15 日（陽暦 2023 年 2 月 4 日～5 日）、天城旺臨宮殿の大聖殿でオン・オフラインで行われた。今回の修練は合計約 1500 人の食口が会場に参加する中、神統一韓国と神統一世界安着大勝利のために精誠を集束させる祝祭の場として設けられた。

特に特別大役事の初日は 1 部で開会式、2 部で孝情天寶特別記念式が行われ、世界各地の教会に配信された。2 日目はインターネット放送によって、孝情天寶特別大役事の恩恵が世界の食口にくまなく体恤されるように行われた。

式前イベント「孝情の証詞」を通じて、江原大教区のパク・インギョ 旌善（チョンソン）教会長（神京原国、6,000 家庭）は「誰もが日常生活の中で予期せぬ事故により苦痛や試練、困難を経験する時がある。それらの内容をすべてご存じの天地人真の父母様は、祝福家庭が試練や苦痛を乗り越えられるように天心苑を準備してくださった。天地人真の父母様の愛と恩恵に感謝する。」として「新型コロナウイルス感染症が盛んに拡散していた時、妻のラ・ミョンオクは、新型コロナワクチンの 3 回目を接種して、全身に深刻な水泡が発生する後遺症により大変な苦痛を受けた。病院に通ったものの、なかなか治らず、長い間苦痛の中で過ごし、だんだん免疫力が弱まった。後遺症から副作用を起こし、肺に水が溜まり気道まで詰まるくらい危険で深刻な状態に至った。一時も病院から離れることができない状況で、嫁、孫、孫娘を含む家族全員が 40 日特別精誠を捧げた。またその期間、孝情天苑団地に勤める息子が、天心苑 40 日徹夜精誠に参加した。すると、病院の集中治療室でも諦めていた妻の状態が少しずつ回復するようになり、現在は一人で物を食べられるくらいにまで良くなった。今回の経験を通じて家族全員が新たに信仰を確立することができ、独り娘・真のお母様の実体聖霊の役事を経験させてもらった。HJ 天宙清平修鍊苑を通して、このような恩恵が受けられるようにしてくださった天地人真の父母様に心より感謝を捧げたい。」と伝えた。

李基誠（イ・ギソン）天心苑長は開会の辞を通して「ときめきと喜び、歡喜の 2023 年」という主題で、真のお母様が新年賀礼会（陽暦 2023 年 1 月 3 日）で下されたみ言を再度強調した。李基誠苑長は「新年賀礼会の時、真のお母様が私たちに『2023 年は言葉では言い表せないときめきと喜びと歡喜に満ちた癸卯年』という祝福のみ言をくださった理由は、第一に基元節以後 10 年一区切りを迎え、再び出発する年、天一国 11 年を迎えたため。第二に創造主天の父母様の夢と願いが、真の父母様と共に地上で実体的に摂理を繰り広げていくことになる年であるため。」だと伝えた。



李基誠苑長は「真のお母様は真のお父様の天宙聖和以降、基元節を宣布され、10年間涙の路程を歩まれた。天の父母様と真のお父様を誰よりも愛する孝情の心情一心で乗り越えてこられた。そして、7カ国の復帰、七教団の復帰はもちろん、神氏族メシヤ天寶入籍を勝利されたことで、ようやくビジョン 2020 の大勝利による天一国安着と天の父母様聖会を宣布された。私たちは 2023 年に何としても天苑宮天一聖殿を勝利奉獻することで、真のお母様に孝情の心情をお返ししなければならない。」と伝えた。

その後、金仁天(キム・インチョン)事務総長の特別報告、天寶賛美役事、天一国孝情瞑想を通じて、2023 年 HJ 天宙天寶修鍊苑の希望と祝福の恩賜が参加した食口に伝えられる、意義深い時間が持たれた。

2 部の孝情天寶特別記念式では、告天感謝文の奉読、孝情奉獻書奉獻式、天心合心共鳴祈祷が行われた。

李基誠天心苑長夫妻は、告天感謝文を通じて、「尊き天の父母様!愛する天地人真の父母様!<孝情天寶特別記念式>を挙行できるようにしてくださった恩恵に心から感謝申し上げます。真のお父様の天宙聖和以降、真のお母様は一寸先も見えない嵐と暗黒の中を前進してこられ、中断なき前進で基元節を開かれ、死生決断、全力投球、実践躬行で大勝利され、10年一節を経て天運に乗り飛翔できる天一国11年を迎えることになりました。また、天寶役事52周年を迎え、五大洋六大陸に恩恵の役事、祝福の役事、奇跡の役事を経験することのできる実体聖霊役事時代を完成させられました。このような基台の上に『孝情奉献書』を捧げますので、神霊と真理の役事が炎のように起こるようにしてください!」と懇願した。

続いて食口たちの切実な願いが込められた孝情奉献書が奉献され、天の父母様と天地人真の父母様に天心合心共鳴祈祷を捧げる時間が持たれた。

第3地区忠南大教区天安教会所属の36万双の食口は「夫に信仰がなく、大役事の度に一人で参加することは容易ではなかった。今回の大役事も、実は夫の参加に確信がなかったので、修練担当者に映像を通じての参加にすると伝えてあった。いつもだったら映像視聴の時に夫がいなくなってしまうが、今回の大役事では、夫が出て行かずに一緒に映像視聴をしてくれたのでとても驚いた。映像での参加ではあったが、大役事が始まって最初から最後まで夫と一緒に座って賛美も共にすることができた。これからもっと乗り越えていくべきことがたくさんあるだろうが、天心苑と孝情奉献書の恩恵を信じて進みたいと思う。」と感想を伝えた。

第1地区ソウル北部大教区天勝教会所属の既成家庭の食口は「今回の大役事は前回の大役事の時よりもすべての面でより一層感動的だった。BTMの明るくエネルギッシュな音楽と振り付けが良かったし、天心賛美団の合心賛美にとっても癒された。天心苑から湧き出る愛の香りが感じられた。変化があった賛美役事もとても良かった。太鼓とピアノが舞台から降りてきて、舞台上で賛美をする人が増え、さらに賛美の熱気が増した。一言で言うと、今回の大役事で祝福をくださるための真の父母様の心情を悟らされる感動の大役事だった。」と感想を伝えた。

天地人真の父母様の聖誕および天一国基元節10周年を記念して行われた孝情天寶特別大役事は、李基誠苑長の祝祷と億万歳三唱で、真の父母様の祝福を全天地になびかせながら終了した。🎵



世界平和女性連合(WFWP) 米国会長離任式

世界平和女性連合(WFWP)米国会長の離任式が天・国 11 年天暦 1 月 21 日(陽 2023.2.11)、ワシントン DC でウェビナー(オンラインセミナー)として開催された。

この日の行事は WFWP 会員、支持者、パートナー約 270 人が参加する中で、WFWP 米国会長であり、WFWP 北米国際副社長であるアンジェリカ・セル会長の離任式とモフィット会長の就任式で行われた。

文薫淑 WFWP 世界会長は「2022 年は皆様がよくご存知のように、大変重要な一年だった。WFWP 創立 30 周年になる年でありながら、同時に WFWP ネットワーク出発 10 周年を迎えた、意義深い一年だった。WFWP は国連経済社会理事会の NGO の最高等級である『包括的協議機関』として承認され、現在まで維持している。私たちはこのようなとてつもない業績と成果をこれまで共に作ってきた、WFWP のアンジェリカ・セル会長の将来を祝うために、本日この場に集まった。私は彼女と共に仕事できた、すべての時間に感謝を捧げたい。」と伝えた。





また、文薫淑世界会長は「ケイリー・モフィット新任会長を心より歓迎する。彼女は国内外の数多くの奉仕活動と家庭連合青年牧会、地域牧会の任務などを、肯定的かつ健康的な方法で遂行してきた。私達は堅固な基盤の上に立っている。私たちが想像できない方法で成長し、発展するだろう。最近、真のお母様は世界平和統一家庭連合の傘下にあるすべての組織で世界的に起きている摂理的変化と、WFWPの世代交代について、我々共同体が21世紀とその後は平和に向けた核心的な役割を果たすだろうし、すべての女性が暗い世の中を照らす灯火になればならないと強調された。私はお二方を含むWFWP米国の前途に天の父母様と真の父母様の祝福が溢れることを、心より願う。」と歓迎の挨拶として述べた。

アンジェリカ・セル会長は就任の挨拶で「まず最初に真の父母様に深く感謝を捧げたい。また、本日の就任式のためにこの場に参加してくださったすべての皆様に感謝したい。真の父母様から初めて、WFWP会長の任命を受けた時が思い出される。当時、真の父母様に天の父母様の召命について尋ねたところ、3つの返事をくださった。『第一に、WFWPのビジョンと使命を研究し、発展させなければならない。第二に、次世代のための準備をしなければならない。第三に、天の父母様が女性に与えた使命を人生を通じて実践しなければならない』という内容だ。これまでこのすべての内容を遂行できるように、すべての時間を共にしてくださった天の父母様と真の父母様、そしてここに集まった会員の皆様の愛を忘れない。心から感謝したい。」と伝えた。

その後、アンジェリカ・セル会長は、WFWP USA30周年のバトンを、ケイリー・モフィット新任会長に伝達した。

行事に参加した文薫淑 WFWP 世界会長、文善進 WFWP 世界首席副会長、金起勳北米天議苑長、龍鄭植神米国会長、マイケル・ジェンキンス UPF インターナショナル会長、後田直君 FFWPU USA 会長などは、WFWPのビジョン勝利のために、確固たる支援を惜しまないという祝賀の挨拶と歓迎の拍手を伝え、ウェビナーは成功裏に終了した。🎉

第1回孝情アカデミー 国際学術大会

孝情学術財団と統一思想研究院が共同主管し、孝情学術財団・鮮鶴学院・孝情マグノリアグローバル医療財団が共同主催した「第1回孝情アカデミー国際学術大会」が、天一国11年天暦1月6日から8日まで（陽暦2023年1月27日～29日）の2泊3日間、鮮文大学の国際会議室でオン・オフライン（対面：110人、オンライン：139人）形式で開催された。

今回の国際学術大会は、真の父母様の統一思想と統一神学に関する研究をはじめ、共生・共栄・共義主義の神統一世界を実現するための未来人材養成を目標に、6つの大陸（韓国、日本、アフリカ、アメリカ、ヨーロッパ、中国）の9カ国から合計92人の世界的な学者が参加する中で開かれた（48編の論文発表、6つのセッション＋特別セッション）。

今回の国際学術大会を通して発表された資料と議論された内容は、真の父母様のみ意を実現し実を結ばせるために孝情アカデミーの国際学術誌として発刊される予定である。国際学術大会の参加者たちは、今後共生・共栄・共義主義の実践のための持続的な学問研究はもちろん、統一思想と統一神学の学問的深さを広げるために、孝情アカデミー国際学術大会との協力、研究を継続することを誓い、学術大会を盛況裏に終了した。 



第1回孝情アカデミー国際学術大会 スケジュール

日	日程	発表
27日	登録、参加者の紹介 海外代表団との準備会議	-
28日	歓迎の辞および祝辞	秦成培、宋龍天、キム・サンギョン
	全体会談	秦成培、廣井孝弘、アオキカズヒロ(3人)
	セッション 1: 材料の革新と未来の輸送	アウエザン・アミノフ、チョ・イノ、キム・ジュンヒョン、 ヨン・ジングク(5人)
	セッション2: 宗教と社会運動	ムン・ミニョン、ソン・ファジン、チャン・ユンジョン、 キム・チャンファン(4人)
	セッション3: 医学と霊的治療	スズキシゲヒロ、イ・サンヒョン、ミヤハラシュウ、 ウンランド・ロジャー・ウンガトゥ、ホソダトオル(5人)
	セッション4: 生命科学と物理学	アンドウシュンイチ、バシュー・デヴ・バルデ、 ブラサンサ・シュレスタ、ハン・ソラ(4人)
	セッション5: アフリカの環境と公衆衛生に関する研究	マガンヤ・H・イノセント、アリアダン、 ウンランド・ロジャー・ウンガトゥ、レジナルド・ナルガラ (4人)
	セッション6: アフリカ社会の経済発展のための研究	フレデリック・ワキシ、 ハイルセラシエ・ゲブレマリアム・アラヤ、 アントニー・オットー・エノ・オンアヨ、クォン・スング(4人)
29日	特別セッション: グローバル倫理の確立に関する研究 (世界をまたぐ普遍的な孝を中心に)	イ・ジェヨン、ファン・ジンス、ハン・チョルヒ(3人)
	ポストセッション: 統一神学と統一思想を中心に見た時代的論点	チョン・ジウ、ヨコイタカユキ、ホン・ジェウ、サル・グルン、 ヤマダリョウイチ、アナミカ・カナル、リュ・インジェ、 バク・ジョンヒョン、アウエザン・アミノフ、イ・ジェヨン、 イ・ギョバク、リュ・ヒョンミン、ソン・ファジン、 チャン・ユンジョン、キム・ミョソン、ハテウ(16人)

第18回 鮮鶴UP大学院大学校 学位授与式

第18回鮮鶴UP大学院大学校の学位授与式が天一国11年天曆1月27日(陽2023.2.17)、鮮鶴UP大学院大学校本館チャペル室で開催された。

新型コロナウイルス感染症の拡散傾向が沈静化したことにより、全体対面行事として行われたこの日の行事には、都賢燮(ド・ヒョンソプ) 鮮鶴UP大学院大学総長をはじめ、李基誠(イ・ギソン) 学校法人清心学園理事長、卒業生や関係者など100人余りが参加した中で行われた。

都賢燮総長は学位授与の挨拶を通じて、「本日この場は、何よりも未来人材養成の貴いみ旨立てられ、この場に教えと学びの殿堂を建て、理想的な人間像と理想的世界像を広く知らせる指導者を育てようとした、真の父母様の大きな祝福と愛があったからこそ迎えることができた。卒業生皆が真の父母様の願いを抱き、世の中に進み、それぞれの精誠と苦勞で大きな結実を結ぶことを願う。世の中は皆さんによってより善良で美しい姿に変わるでしょう。天の父母様と真の父母様の大きな祝福と愛が充満することを願う。」と伝えた。

同日の卒業式では博士3人、修士15人(神学修士9人、牧会学修士4人、平和NGO学修士2人)の計18人が学位を取得した。これで鮮鶴UP大学院大学校は第1回から現在まで249人の修士と26人の博士など計275人の人材を輩出することとなった。

特に同日の学位授与式には、文妍娥(ムン・ヨナ)UPF 韓国会長が「韓鶴子先生の平和思想と平和実現に関する研究:鮮鶴平和賞を中心に」で、神学博士号を取得したことが知らされた。



韓半島の平和と神統一韓国実現のための 2023新年湖南濟州地区 超宗教祈祷会

(社)韓国宗教協議会が主催し、天宙平和連合 (UPF) 湖南濟州地区が主管する「韓半島の平和と神統一韓国実現のための 2023 新年湖南濟州地区超宗教祈祷会」が 80 人余りの宗教指導者が参加する中、天一国 11 年天曆 1 月 10 日 (陽曆 2023 年 1 月 31 日) 麗水ジ・オーシャンリゾートのグランドボールルームで開催された。

この日の祈祷会は韓半島をめぐる列強の葛藤が高まり、世界的な経済危機や戦争などで韓半島の平和と安保がこれまで以上に重要視されている昨今、宗教や宗派を超えて宗教指導者たちが韓半島の平和を祈願するために開かれた。

パン・ジュングン牧師 (KCLC 湖南濟州会長) は「神様が成し遂げようとされるこの国の統一と世界平和のために、私たちが宗教人として教派を越えて志を一致させられるよう、2023 年は宗教人たちが和合し、国と世界のために大きく寄与できるようにさせてください。」と報告祈祷を捧げた。

チョ・ユクヒョン UPF 湖南濟州副会長は歓迎の辞で「私たちは一つになるために今日この場に集まった。どんな人も心から愛せば怨讐はいないと言われる。今日の集まりこそ、すべてを包容する最も大きくて広い聖職者の集まりではないかと思う。2023 年、私たち皆が力を合わせて愛の家を建てるために共にし、その結実を持って再び集まり、私たちの歩みを回顧するその日があることを心から願う。」と伝えた。

ホ・ジョンヒョン神父 (IAPD 湖南濟州共同会長) は「今の社会は人間らしさ、正しさ、正義、平和などの価値が経済論理のブラックホールに吸い込まれ、経済的価値にばかりこだわっていると見てとれる。宗教はせいぜい福を得るための手段になり下がってしまった。宗教は政治や社会と無関係ではない。批判的省察は必須であり、社会、国、世界に対して責任感を持ち、宗教家が実践的な姿勢で模索していかなければならない。」と伝えた。

チャファン僧侶 (IAPD 湖南濟州共同会長) はメッセージを通じて「すべての宗教の儀式と形式、そして言葉と教えを尊重し認めながら、出会いを通して意味や意図することを学び身につけ、究極的には『一人』の多様な教えと姿であることを知り、祈祷と修行を通じてその方と一つになることが宗教の平和と統一、韓半島の平和と統一、世界の平和と統一を成し遂げる基盤になるだろう。」と伝えた。



(左上から) パン・ジュングン牧師、チョ・ユクヒョン副会長、ホ・ジョンヒョン神父、チャフアン僧侶、李相宰会長、式前公演、団体写真

李相宰（イ・サンジェ）会長は新年の挨拶で「宗教の使命は失われた神様の愛を回復することであり、すべての宗教の実が結ばれる所が、まさに大韓民国である。38度線を取り除き、8000万同胞が血を流すことのない神統一韓国を作ることが重要である。平和統一のために宗教家がまず連合し、皆が平和を作り愛を伝え、一つになって神統一韓国を実現していかなければならない。世界中に平和と愛が満ちる癸卯年、2023年になることを願う。」とし、新年の祈願と共に宗教人の役割と使命について強調した。

続いて、様々な他の宗教の指導者たちが癸卯年の出発を祝い、宗派や教団を越えて和合することを願うという新年の言葉を伝え、韓半島の平和と神統一韓国の実現に向けて宗教家たちが先頭に立って参加するという意志を伝えた。🙏

神アメリカ活動報告

真の父母様聖誕記念行事

真の父母様の聖誕日を迎え、真のお父様の聖誕 103 周年と真のお母様の聖誕 80 周年記念行事が米国 5 地区を中心に天一国 11 年天暦 1 月 6 日から 8 日 (陽 1.27~29) の期間にかけて盛大に開催された。

同日、1 地区ニュージャージー (502 人) をはじめコネチカット教会 (100 人) では、真の父母様の聖誕記念行事が、主要公職者と中心食口、ゲストが参加した中で行われた。行事に参加した食口は、真の父母様の聖誕を祝賀し、それと同時に 2023 年の新年の目標と、米国の使命について共有する時間を持った。またマンハッタン、ベルベディア、マサチューセッツ、ハドソンバレーからも祝福家庭が集まり、真の父母様の聖誕の喜びと栄光を分かち合った。

2 地区ワシントン DC 家庭教会でも、真の父母様の聖誕

記念行事が開催され、この日の行事はジョージア、ノースカロライナ、サウスカロライナ、オーランド、マイアミ、フロリダ・ジャクソンビル、バージニア地域の祝福家庭が 200 人以上参加する中で、オン・オフラインで行われた。参加した家庭は、真の父母様の聖誕をお祝いし、一番最初に真のお母様の新年の言葉の映像視聴を通じた、ビジョン 2023 勝利の決意と、マイケル・ジェンキンス会長の特別報告 (証) を通じて、真の父母様から頂いた恩恵を、共に分かち合う時間を持った。

また、3 地区はミネソタ家庭教会 (100 人) をはじめ、シカゴ家庭教会 (180 人)、オハイオ教会 (97 人)、インディアナポリス教会 (37 人) で、真の父母様の聖誕記念行事のための特別な膳立てと記念礼拝、朝食を通じて、真の父母様の聖誕をお祝いした。

同日、第 4 地区ではルイジアナ、アーカンソー、アリゾナ、アラバマ、テキサス地域の教会に集まり、真の父母様



の聖誕を記念し、第5地区のバイエリア家庭教会、サンディエゴとワシントン州でも祝福家庭が真の父母様の聖誕を迎え、記念礼拝と朝食祈祷会、孝情文化公演を通じて、真の父母様の聖誕の喜びと栄光を共に分かち合った。

世界平和女性連合(WFWP) 健康およびウェルビーイングの日

世界平和女性連合(WFP) ニュージャージー支部では、天一国11年天暦1月7日(陽2023.1.28)、「健康およびウェルビーイングの日」をテーマにした健康講座が、ニュージャージー州クリフトン・アルウッド支店の公立図書館で約60人が参加する中で開催された。今回の行事の趣旨は、女性たちが自身の心と体、そして精神をコントロールする管理法を選択し、自身はもちろん家族や地域社会まで、総合的にケアを実現するための様々な方法を推薦するためである。

WFWPは、「心のケアの練習、バランスの取れた食事、規則的な身体活動、十分な睡眠、ストレスを減らすことが、心と体、精神を癒す上で効果が大きい。」と説明し、マッサージ、ヨガ、ズンバダンス、カラーリングブック、工芸、ゲーム、和動会、食べ物の摂取方法などの講義と活動を通じて、参加した老若男女が楽しむことの出来る時間を設けた。



世界キリスト教聖職者協議会(WCLC) ウェビナー

世界キリスト教聖職者協議会(WCLC)は、天一国10年天暦12月24日(陽2023.1.15)、「天の父母様の夢を叶える年」というテーマで、2023年最初のウェビナーを開催した。WCLC ウェビナーの司会を務めた、ターニャ・エドワーズ(Tanya Edwards)国際担当理事は、開会の挨拶を通じて、「今回のウェビナーの目的は、真のお母様の新年のみ言に従って、天の父母様の夢を明確に理解し、天の父母様の夢を叶えるためのWCLCの覚悟と決意を固めることにある」と伝えた。

本格的なウェビナーに先立ち、WCLCの運営委員6人は「2023年、天の父母様の夢を実現するWCLCの役割の重要性」と激励の挨拶を伝えた。参加者たちは、真のお母様の新年のみ言と運営委員たちの激励の挨拶を心の奥深くに刻み、参加者たちは2023年の癸卯年の新年には、より一層天の父母様のみ旨を実現するために、WCLCの役割に最善を尽くすことを誓った。

2023年、新年を記念する意味で設けられたWCLCウェビナーは、30カ国から165人が参加する中で盛況裏に終了した。



(YCLC) 43日祈禱会

YCLC は 43 日祈禱会の中でジョン・ジャクソン 4 地区会長 (ダラス家庭教会牧師) を中心に天一国 11 年天暦 1 月 7 日 (陽 2023.1.28)、米国聖職者協議会 (ACLIC) を招待して朝食祈禱会を開いた。今回の祈禱会は、各宗教団体間の連帯を通じた宗教平和への念願と、真の父母様の平和運動の紹介、神統一韓国と神統一世界のための祈禱会として行われた。

これに関連して ACLIC の 2 人の女性聖職者は YCLC への加入意思を明らかにしただけでなく、参加者たちは 43 日祈禱会の運営案を自身の信徒たちと共有することを望んだ。祈禱会を主催したジョン・ジャクソン牧師は、「朝食祈禱会のような集まりは、キリスト教徒に大きな影響力を及ぼしている。」という所見を伝えた。



5. 米国聖職者協議会(ACLIC)聖職者修練会

米国聖職者協議会 (ACLIC) 主管ニュージャージー家庭教会・滝野篤 (Atsushi Takino) 副牧師主催による、「ニュージャージー聖職者修練会」が、天一国 11 年天暦 1 月 13 日 (陽 2023.2.3)、93 人が (70 人の祝福家庭 / 23 人の聖職者) が参加する中で開催された。今回の修練会に参加した聖職者の内数名は、原理講論を既に精読した人もおり、43 日精誠を完了した人もいた。龍鄭植 (ヨン・ジョンシク) 大陸会長は、天の父母様のみ旨のための真の父母様の平和運動の足跡と業績を照らし出し、平和世界創建のための希望のメッセージを伝え、聖職者との絆を固めた。龍鄭植会長は、「天の父母様と真の父母様のみ旨のために、今後も聖職者のための修練会を持続的に開催する。」と伝えた。



6.5地区青年指導者及び牧会者修練会

ガビ・フォン・オウ 5 地区 YAYAM コーディネーター兼事務総長を中心に「5 地区青年指導者および牧会者修練会」が天一国 11 年天暦 1 月 12 日から 15 日まで (陽 2023.2.2~5)、西部地域カリフォルニアベイで青年教役者約 20 人が参加する中で開催された。修練期間中、青年指導者と牧会者はハイキング、国立公園およびゴールデンゲート訪問、聖地祈禱会、心情共有、先輩の特別講義、文化公演などのプログラムを通じて互いの結束を固め、これまでの自分たちの教役を振り返り、ビジョン 2027 の勝利を決意する時間を持った。🌸



神アジア太平洋活動報告

神アジア太平洋1

カンボジア 世界平和青年学生連合(IAYSP)、 高校青少年オリエンテーション

カンボジア世界平和統一家庭連合 (FFWPU) と世界平和青年学生連合 (IAYSP) が主管する、カンボンスペウ高校のオリエンテーションが、天一国 11 年天暦 1 月 3 日と 4 日 (2023.1.24~25) の 2 日間、2 ヶ所で開催された。

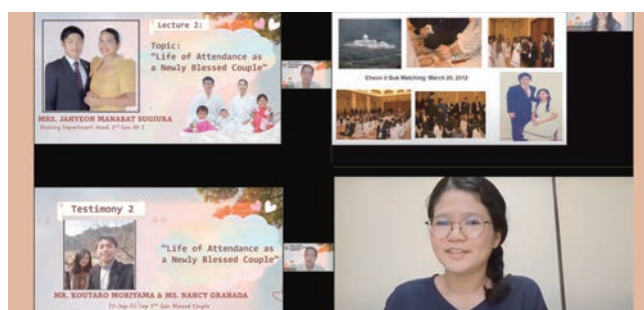
今回のオリエンテーションの趣旨は、最初に、カンボジアの高校生たちが正しい人格教育とバランスのとれた教育の重要性を通じて、カンボジアを代表する未来人材に成長できるよう支援するためだ。2 回目の FFWPU と YSP 活動の紹介を通じて、今後開催される FFWPU カンボジアセミナーで、実質的な未来指導者として養成するためだ。

オリエンテーションに参加した学生たちは「夢と希望的な内容で、私たちの未来に向けて助けの手を差し伸べてくれた FFWPU と IAYSP に心から感謝したい。」と話した。行事の最後に、カンボジア YSP は、事前に準備しておいた真のお母様の自叙伝 (「平和の母」) を学生たちに伝達した。



神アジア太平洋 1、2

神アジア太平洋家庭局、 祝福を受けた新婚夫婦のための教育



神アジア太平洋家庭局では、天一国 11 年天暦 1 月 8 日 (陽 2023.1.28)、祝福を受けた新婚夫婦のための教育を非対面オンライン教育で、3 度にわたって開催した。今回教育を受ける新婚夫婦は陽暦 2022 年 4 月 16 日に祝福を受けたカップル達である。

回次	日時	内容
第1回	(陽) 2022. 6. 25	夫婦関係の形成: 待る生活
第2回	(陽) 2022. 9. 24	夫婦の疎通教育: 夫婦関係の葛藤防止および コミュニケーション
第3回	(陽) 2023. 1. 28	夫婦の価値観教育: 和やかな結婚生活のための 共同ビジョン構築

新婚夫婦教育では、真の父母様のみ言を根幹に天の父母様に侍り、人類は一つの家族となり、平和世界を成し遂げなければならないという意味で、自身と相手に対する理解を広げ、結婚後、夫婦としての役割および機能的なコミュニケーション方法、共同ビジョン構築などの学習を通じて、安定した結婚生活を支援している。

神アジア太平洋家庭局は新婚夫婦のためのプログラムを 3 カ月に 1 度ずつ行っている。🌸

神ヨーロッパ活動報告

ウィーンUPF

世界宗教和合週間記念カンファレンス開催

ウィーン UPF と世界平和女性連合 (WFWP) の後援により、神ヨーロッパでは、国連が世界宗教平和のために指定した世界宗教和合週間（毎年 2 月の第一週）に合わせて、「国連の持続可能な開発目標達成のための宗教と文化の役割」という主題でカンファレンスを開催した。

今回の行事にはウィーン UPF と WFWP、ヨーロッパの主要指導者および神学者、科学者、青年団体、国連麻薬犯罪事務所事務局、一般市民、ジャーナリストなど 200 人余りが参加した。

参加者たちは国内の宗教的差別事例を共有し、それを根絶するための宗教人の姿勢など、宗教の自由と平和を保障するための解決策を模索した。

ジュネーブ世界教会協議会

世界宗教和合週間セミナー開催

ジュネーブ世界教会協議会では「皆のための平和、人間の尊厳性、正義のために奉仕する宗教」をテーマに天一国 11 年天暦 1 月 22 日（陽 2023.2.12）にセミナーを開催した。

今回のセミナーはジュネーブの主要教団および宗教代表らが参加した中で、全世界 350 の会員教会と、6 億人に達するキリスト教を代表する世界教会協議会 (WCC) 本部で行われた。

セミナーでは「望ましい宗教人の姿勢」という趣旨を掲げ、数人の主要な神学者は、講演を通じてすべての宗教が追求する価値は「すべての人に奉仕すること」であると伝えた。

参加者たちは「今回のセミナーが WCC で世界教会の親交の場として開かれたのは、天の父母様と真の父母様の関心と愛のおかげである。」と伝えた。また行事を終えるにあたり、ジュネーブ世界教会協議会は参加者たちに、「天の父母様の下人類一家族になるためには、皆が世界教会和合のための役割を果たす、主導的なリーダーになることを願う。」と伝えた。✎



神中南米活動報告

神南米1地区の世界平和青年学生連合(IAYSP)は天一国11年を出発し、「持続的なリーダーシップ開発のための環境づくりに努める」という覚悟を固めた。IAYSPは天の父母様の真なる子女として成長し、真の父母様のみ言と統一原理で武装するための天一国指導者になるために、様々な修練プログラムを進めた。

ブラジル大学原理研究会(CARP)21日修練会

ブラジル CARP とブラジル IAYSP の共同主管による、新規信者の信仰教育のための「21 日修練会」が天一国 10 年 12 月 4 日から 12 月 24 日 (陽 2022.12.26~2023.1.15) まで、新規信者 (ブラジル、コロンビア、ボリビア、18 歳 ~30 歳) 10 人が参加する中で、サンベルナルド・ドゥカンフー国立研修院 (ブラジル南東部サンパウロ州) で開催された。

今回の修練会は原理講義、真の父母様の生涯路程 (IAYSP 提供) など、様々な教育を通じて、天の父母様と真の父母様との心情的関係形成を深め、信仰成熟の時間として設けられた。

修練会の最終日、参加者たちは修練会以後も、CARP 正会員として共同体発展のための活動参加と、青少年奉仕活動に共に臨むことを誓った。

ブラジル大学原理研究会(CARP)7日修練会

ブラジル CARP と IAYSP が共同主管する、「7 日修練会」が天一国 10 年 12 月 25 日から天一国 11 年 1 月 1 日まで (陽 2023.1.16~22)、8 人の青年 (ブラジル 6 人、コロンビア 2 人) が参加する中で、サンベルナルド・カンフーで開催された。

今回の修練会は 40 日修練会に先立って開催され、修練会の参加者たちは、訓読会と原理講義、質疑応答などを通じて天の父母様と真の父母様のみ旨を理解し、自分たちのビジョンを形成する時間として設けられた。

最終日、出席者たちは、統一原理が自分たちの人生とどれほど密接な関係を結んでいるかについて心の底から理解し、天の父母様と真の父母様の心情に大きく共感したと伝えた。



ブラジル大学原理研究会(CARP)40日修練会

ブラジル CARP 主管リーダーシップ開発のための「40 日修練会」が天一国 10 年天暦 12 月 25 日から天一国 11 年 2 月 5 日まで (陽 2023.1.16~2.24)、7 人の青年 (ブラジル 5 人、コロンビア 2 人) が参加する中で、サンベルナルド・ドゥカンフーで開催された。

今回の修練会はビジョン 2027 勝利のための 1,000 人の指導者養成を目標に、修練会参加者が訓読会と原理暗記、心情相続などを通じて信仰成長、任地派遣、任地開拓のための礎石として大きく役立つプログラムとして準備された。

ブラジル CARP は修練会の最終日、すべての参加者がこれまでの 40 日間の修練会の過程を通じて、天の父母様と真の父母様の愛の中で、未来の青年指導者としてより一層成長できたことに希望を持った。

ブラジル世界平和青年学生連合(YSP)、12日修練会

ブラジル本部とブラジル YSP の主管により、「YSP12 日修練会」が天一国 10 年天暦 12 月 13 日から 24 日 (2023.1.4~15) まで、26 人が参加する中で、サンパウロで開催された。

今回の修練会は創意力と自律性を中心に、自分の関心分野を発見し、共同体運動革新のために、ために生きる人生を実践するプログラムとして設けられた。

参加者全員は 6 つ (芸術、文化、ビジネス、キャラクター教育、オンライン講義、メディアなど) の有望なプロジェクトを開発し、自分たちの才能と関心分野が、天一国を充実化させることに寄与できるということに、大きな情熱を示した。YSP は 1 年間、本プロジェクト事業を開発し、活動することを約束した。



ブラジル成和部 孝情成和修練会



ブラジル成和部と IAYSP の共同主催による「成和修練会」が、天一国 10 年天暦 12 月 17 日から 21 日 (陽 2023.1.8 ~ 12) までの 5 日間、全国の 12 歳から 17 歳までの成和学 生 63 人が参加する中で、サンパウロで開催された。成和修練会の開催は、ブラジル全体の二世圏を一つにまとめようという趣旨からである。

修練会を通じて、成和学生たちは二世のアイデンティティーとその重要性について発見する時間となった。

ブラジル児童部修練会

ブラジル幼児部主管冬休み「児童部修練会」が天一国 10 年天暦 12 月 29 日から天一国 11 年天暦 1 月 1 日 (陽 2023.1.19~22) まで 7 歳から 11 歳までの子供たちを対象に開催された。

今回の修練会は祝福家庭の幼い子女達が原理講義、聖書物語、真の父母様の生涯、ゲーム、和動会などを通じて、信仰を楽しく身近に接し、子女同士の交遊関係を強化するために設けられた。

新型コロナウイルス感染症の大流行以来、3 年ぶりに開催された幼児部の修練会参加者たちは、お互いの出会いに興奮し、修練会期間中はずっと、プログラムに楽しく参加した。



孝情機動団修練会



孝情機動団修練会が「孝情の光で、世の光になろう！」という主題で、天一国 10 年天暦 12 月 21 日から 28 日まで（陽 2023.1.12~19）、二世圏高等部の卒業生を中心に、サンベルナルド・ドウカンフー中央神学校で 7 日間開催された。

今回の修練会は「2023 孝情機動団」に進出することのできる、原理講義の能力を備えた二世圏養成のための教育プログラムとして行われた。

修練会期間中、参加者は皆、原理講義、純潔教育、外部活動、主要指導者の特別講義などを通じて、信じられない経験をして、天の父母様と真の父母様が相続してくださった、この天運の機会に対して感謝を捧げた。

ブラジル全域で冬季修練会として開催された幼児、成和学生、青少年、青年修練会は、2023 年新年を迎え、ブラジルの全世代が真の父母様に侍り、本物の指導者として成長し、神統一韓国と神統一世界に向けて全世界に広がっていく上で一助することを願いながら、盛況裏の内に終わった。

アルゼンチン21日国際原理修練会

神南米アルゼンチン家庭連合とアルゼンチン CARP 主管による、21 日国際原理修練会が、カニューエラス中央修練所で天一国 10 年天暦 12 月 27 日から天一国 11 年天暦 1 月 8 日（2023.1.9~29）まで、リカ、コロンビア、ペルー、ボリビア、



チリ、パラグアイ、ウルグアイ、メキシコ、ブラジルなどで計 51 人（二世 29 人含む）の青少年が参加する中で、21 日間開催された。

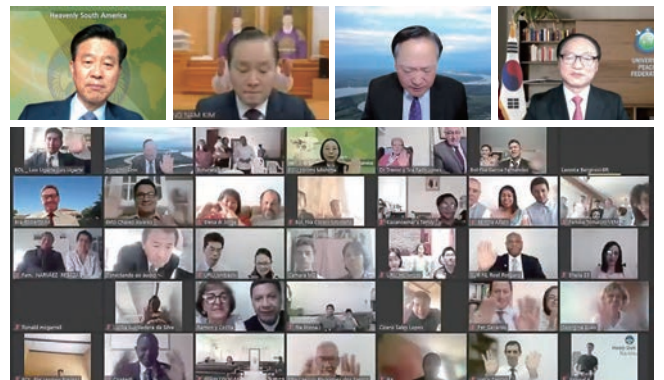
今回のセミナーは「天一国時代の永遠な幸せのための深いルーツ」という主題で原理講義、真の父母様の生涯、祝福の価値、霊的世界での暮らし、信仰生活およびリーダーシップ、スポーツ、文化活動などで構成された。

閉幕式でソ・ソンジョン神南米大陸 2 地区牧師が、ZOOM を通じて、「真の父母様のみ言によれば、修練会の最も大きな目的は墮落性を脱ぎ、陰のない信仰生活をするためにある。参加者皆が真の父母様のみ言と心情と一つになって自身を浄化し、真の父母様の愛の中で未来の指導者として成長できるこの期間になったことを願う。」と閉会の挨拶に代えた。

神南米新年礼拝

癸卯年の新年を迎え、神南米では、1 月中に 5 回の日曜礼拝を通じて、各摂理指導者たちに「天一国勝利安着のための 2023 戦略」、および「ビジョン 2027 に向けた戦略」などを共有する時間を持った。

天一国 10 年天暦 12 月 10 日、最初の日曜礼拝は梁昌植（ヤン・チャンシク）天議苑長がアベル国連摂理について共有し、2 回目の日曜礼拝ではキム・ドンウ大陸会長が 4 大革新について説明する時間を設けた。また、3 回目の日曜礼拝では、UPF の申東謀（シン・ドンモ）会長が、「天一国 11 年の出発および決意」をテーマに説教を語り、4 回目の日曜礼拝では、HJ 天宙天寶修鍊苑のキム・ソンナム神南米分苑長が、天心苑での祈祷と天寶の恩恵を分かち合う時間を持った。最後の日曜礼拝では、二世の指導者たちが真の父母様のみ言を中心に、IAYSP の戦略を共有する時間を持った。これにより、神南米の食口は皆、新年が明け、新しく活気に満ちた思いで、天の父母様と真の父母様のみ旨を実現するために前進することを誓った。🔗



神アフリカ活動報告

コートジボワール世界平和青年学生連合(IAYSP)

2023年勝利のためのIAYSP& 青年部徹夜祈祷会

2023 年勝利のためのコートジボワール IAYSP& 青年部徹夜祈祷会が天一国 11 年天暦 1 月 6 日 (陽 1.27)、アビジャンで開催された。

2022 年の活動映像視聴から始まった徹夜祈祷会は、真の父母様のみ言訓読、賛美、報告祈祷の順に進行された。徹夜祈祷会に参加した青年学生たちは「2023 年にも健康に勝利のために最善を尽くそう！」と誓った。



コートジボワールUPF

「隣人同士の疎通の場」 を設ける

地球村紛争を終息させ、平和世界の実現を目標にしたコートジボワール UPF は「隣人同士の疎通の場」を天一国 11 年天暦 1 月 14 日 (陽 2023.2.4)、ブアケ地域で宗教、政治、社会指導者と族長約 400 人が参加する中で、祝祭および和合の場として開催した。

今回の行事は、土地紛争で 22 年以上も葛藤してきた両村の住民との疎通を通じて、村の資源を発掘し、持続



可能な共同体を作って活力を吹き込みたいという目的から行われた。

コートジボワール UPF 事務総長の講義に続き、両村の族長が土地分配に対する「平和合意書」に署名し、住民間の平和な関係が築かれるよう約束した。行事に参加した両村の住民たちは、両村の平和と地域活性化のために積極的に協力してくれたコートジボワール UPF に感謝の意を表した。

ベナン孝情天寶大役事

アフリカのベナンでは「食口は皆、年に 4 回実施される大役事に必ず参加するように」という真の父母様の指針に従い、孝情天寶大役事が天一国 11 年天暦 1 月 14 日 (陽 2023.2.4) に開催された。今回の行事には祝福家庭をはじめとする 21 日修練会を修了した新食口約 80 人が参加する中で行われた。

修練会に参加したベナンの食口達は、大役事に参加して大きな恩恵を受けられるようにして下さった、天の父母様と真の父母様に深く感謝を捧げた。



ガーナ世界平和女性連合(WFWP)

「国際女性性器切除 (FGM/C) 根絶の日」 記念行事

国連総会では、毎年 2 月 6 日を「国際女性性器切除 根絶の日」として指定し (2003 年より)、女性割礼の深刻性と被害事実を知らせ、それを根絶させることを訴えて来た。

ガーナ WFWP は「国際女性性器切除 根絶の日」を迎え、天一国 11 年天暦 1 月 16 日 (陽 2023.2.6)、学校 2 カ所で 60 人の青少年を対象にした人格教育を実施した。

今回の人格教育の最大の目的は、最初の青少年を含む父母、祖父母および社会指導層に割礼の副作用と危険性を知らせるためである。2 つ目には、エイズを含む主要性病の種類と伝播、および感染経路について知らせるためであり、3 つ目には、正しい純潔と純潔な人生を送らなければならない理由について教育するためだ。

行事の最後には参加した学生たちが婚前純潔を守り、学生の本分である学業に集中するという誓約ができるように案内が行われた。🌸



한국 안착을 위한
3시 실현시키겠습니다

범내골정신 수선회



윤영호 세계본부장 초청
신경상국 특별집회

孝 비전 2027 신통일한국 안착을 위한 情
윤영호 세계본부장 초청 신경상국 특별집회
일사: 천일국 11년 천력 1월 8일 (양 1.29) 주회: 하늘부모님성회 세계평화통일가정연합 신경상국

